

議会

だより

113

12月定例会号

平成30年2月

発行 佐呂間町議会



ガスや電気なしで上手に作れるかな？ 防災クッキング 平成29年12月9日撮影

12月第4回定例会 特集 小学生の見る議会 2P

特集 中学生の見る議会 4P 審議した議案 5P 町長行政報告 8P

一般質問「教育行政について」など 10P

議会ニュース 委員会レポート 現地調査報告 安心ハウスを視察 13P

議員のひと言 15P

お仕事訪問 クリニックさろま院長 鷗木 和久さんに聞く 16P



さろま

あなたと町議会を結ぶ情報誌

町議会URL <https://www.town.saroma.hokkaido.jp/gikai/>

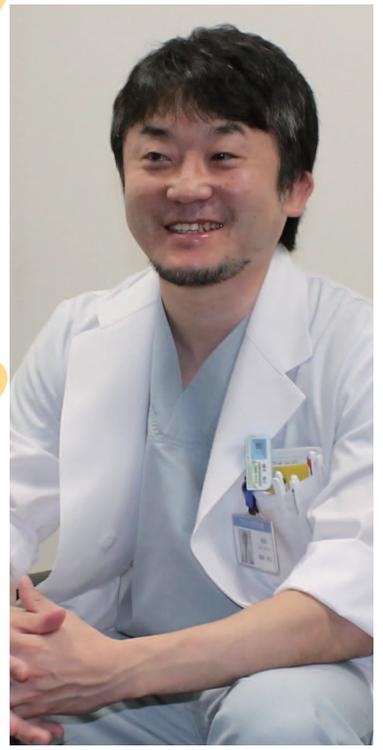
町の診療所として 診療科を問わず対応します 鷓木和久



昭和 52 年生まれ 秋田県能代市出身
帝京大学医学部卒
産業医、認知症サポート医、
スポーツドクター

お仕事訪問 クリニックさろま 院長 鷓木 和久 さん に聞く

佐呂間町で働く人の生の声を通して、みんなが住み続けたい町づくりのありかたを探ります。
(聞き手・佐藤昭男委員長)



自己紹介をお願いします。

佐呂間町について。

帝京大学に入る前に、道教
育大旭川に行っていて、嫁さ
んとはそこで出会いました。
医学部卒業後は、能代市の
病院で研修医を務めました
が、田舎だったため、全ての
診療科を回ることもあり、そ
こで地域医療に興味を持つよ
うになりました。

5千人規模の町の中では、
完結した機能を持っていて、
自分たちでやっていける力強
い町だと感じています。冬は
スキー場が近くにあっていい
環境ですね。
最後にひとことどうぞ。

クリニックさろまについて
教えてください。

町の診療所として、対応で
きるものは対応しています。
設備としては、CTが非常
に高性能なので、今後積極的
に使いたいです。まずは人間
ドックを導入して、来年度以
降、がん予防のための健診に
もつなげたいです。

眼科や皮膚科など、診療科
を問わず対応します。
冬季に薬がなくなったけれ
ど、遠くの病院に行けないと
いう人も、薬を処方できます
ので相談してください。

【取材メモから】
休日には温泉に行くほか、
そば打ちや、陶芸など多方面
に興味を向ける一面も。研修
医時代に培われたであろう活
力が垣間見えました。

クリニックさろまへのお問い合わせは ☎ 01587-6-7611